



北海道新幹線開業をPRする出前授業

「いぶりONEと学ぼう！北海道新幹線出前授業」（胆振総合振興局

主催）が、9月26日、虻田小学校で行われました。参加したのは、6年1組（22名）の生徒と保護者。

開業する北海道新幹線をPRするため、同振興局が管内11市町村で開く出前授業の3回目で、職員と同振興局のイメージキャラクター「いぶりONE」が同校を訪問し、新幹線の速さや魅力をアピールしました。

クイズも出題され、「新幹線の区間」「新幹線の線路にないもの」などをみんなで考えました。

最後に、新幹線が来る日まで数える、カウントボードが渡されました。

北海道新幹線開業をPR 虻田小学校で出前授業

軽い運動で新世代高齢者支援 ニューエルダー元気塾

スポーツ・レクリエーションなどで、新しい世代の高齢者を支援する「洞爺湖町ニューエルダー元気塾」（同実行委員会主催）が、9月26日、あぶた体育館で行われ、約60人が参加しました。

4回シリーズの2回目で、60歳以上が対象。

最初に町のスポーツ推進委員の指導で、ストレッチ運動が行われ、2人1組になって、いろんなステップを踏みながら進行してパートナーを替える運動に悪戦苦闘しながら取り組みました。



軽スポーツで体力増進をはかるエルダー塾

その後スポーツ吹き矢に挑戦し、軽スポーツを楽しみました。

初秋の洞爺湖で音楽の調べ ギャラリーコンサートin洞爺湖芸術館

9月27日、洞爺湖芸術館で秋の夜長を楽しむ「ギャラリーコンサートin洞爺湖芸術館」が開かれ、訪れた約70人の町民らが澄んだ歌声に魅了されました。

出演したのは、洞爺地区で活動している女声コーラス「フラワー ビーンズ」を指導している加藤亮子さんと仲間の皆さん。

2部構成で、第1部は、浜辺の歌や赤とんぼなどの童謡を中心にしっかりと聞かせ、第2部は、ポップスやジャズなどバラエティな楽曲で会場を盛り上げました。

最後にアンコール曲として、秋にぴったりなシャンソン



秋の夜に沁みるギャラリーコンサート

の名曲「枯葉」を披露し、芸術の秋を満喫しました。



厳粛に行なわれたアイヌ先住民族慰霊祭

北海道アイヌ協会洞爺湖支部（妻木征男

支部長）は、9月28日、平成26年度洞爺湖町アイヌ先住民族慰霊祭（カムイノミ・イチャルパ）を歴史公園にある先住民族慰霊碑前で行いました。同支部の会員や行政、議会、教育関係者ら35人が参加して先祖の霊を慰めました。

カムイノミでは（神への祈り）、鶴川文化協会の木下梅雄会長が祭祀となり、火の神、幣場（ヌサバ）を司る神、家の守り神それぞれに祈りを捧げ、イチャルパでは、女性らが先祖の霊に供物を捧げました。

引続きおこなわれた懇親会では、鶴川文化協会の皆さんによる古式舞踊が披露され、厳粛な空気に包まれました。

神への祈りと先祖供養 アイヌ先住民族慰霊祭



まちのわだい